

■日時 平成30年8月17日(金) ■天候 晴れ

天理高等学校 対 清和学園高等学校 通信制

■球場 明治神宮野球場 第2試合 準々決勝 ■試合時間 1時間16分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:竹本 塁審:鈴木(優) 濱野 河村

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5									計	安	失
天理	近畿・奈良	1	0	2	2	5									10	14	0
清和学園・通	埼玉	0	0	0	0	0									0	0	2

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	5						
1	中		窪田正喜	3	2	2	0	捕飛	四球		中2	中2							
2	右		平野雄大	4	2	3	0	二安	三安		中飛	三安							
3	投	三	岡田民生	4	2	3	4	右安	二ゴ		中安	中安							
4	左		森口信宏	3	1	2	0	四球		左安	左安	捕邪							
5	遊		片山幸輔	4	0	1	1	投ゴ		二ゴ	遊失	中2							
6	一		浅見紫歌	2	1	0	0	捕飛		四球	三ゴ	四球							
6	一		内山理弘	0	0	0	0												
7	三		清水勇人	4	0	0	0		遊ゴ	遊邪		二飛	二飛						
7	投		伊藤慎介	0	0	0	0												
8	二		邊田三嗣	2	1	2	2		四球	左2		右3							
9	捕		原田成人	2	1	1	2		投犠	三振		中本							
合計				28	10	14	9	残塁:9		併殺:0									
								備考											

■バッテリー

投手
岡田民生
伊藤慎介

捕手
原田成人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
岡田民生	4	15	0	3	3	0
伊藤慎介	1	4	0	1	1	0

清和学園・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5							
1	二	一	礪部翔海	3	0	0	0	三振		三ゴ		三ゴ							
2	中		榎本瑠輔	2	0	0	0	三振		三ゴ									
3	投	二	鈴木翔悟	1	0	0	0	四球			右飛								
4	遊		大日向礼央	2	0	0	0	二ゴ			右飛								
5	一	投	新井翔太	0	0	0	0		四球		四球								
6	三		田端優貴	2	0	0	0		右ゴ		右邪								
7	捕		石川拓哉	1	0	0	0		三ゴ			四球							
8	左		石塚拓海	2	0	0	0		三振			投ゴ							
9	右		輿石拓己	2	0	0	0			二ゴ		三振							
合計				15	0	0	0	残塁:4		併殺:1									
								備考											

■バッテリー

投手
鈴木翔悟
新井翔太

捕手
石川拓哉

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
鈴木翔悟	4 1/3	29	12	1	4	7
新井翔太	0 2/3	5	2	0	1	1

■戦評

神宮球場で行われた準々決勝第2試合は、2回戦をコールドで完勝した天理高校と主戦鈴木との粘投により接戦で制した清和学園高校・通信制の対戦となった。天理は初回一死三塁の好機に3番岡田が適時安打を放ち先制に成功すると3回に8番邊田の2点適時二塁打で4回は岡田の適時安打と敵失により2点ずつを追加する。清和学園は初回2回4回と四球により走者を出すものの天理の堅い守りの前に得点はおろか走者を進めることさえできない。5回天理は1回戦からここまで粘投を続けてきた清和学園の主戦鈴木を攻め9番原田の2点ランニング本塁打など4連打で鈴木をマウンドから引きずり降ろすと代わった2番手新井から3番岡田の2点適時安打と5番片山の適時二塁打により3点を追加し試合を決めた。先発岡田が投げては4回を無安打に抑え打っては3安打4打点の活躍を見せた天理が5回コールド10-0で勝利し、準決勝に進出した。一方敗れた清和学園は攻守ともに隙のない野球を見せた天理の前に1・2回戦突破の原動力となった粘り強さを投打どちらも発揮することができず無念の敗戦となった。